

おごおり 社会福祉協議会だより

No.175
2020 **3**



「くろつちカフェ」



「三国カフェ」



「シュシュプレイス」

ボランティア特集 『地域の居場所づくり』 ～多世代交流～

発行：社会福祉法人 小郡市社会福祉協議会
福岡県共同募金会小郡市支会
小郡市二森1167-1
総合保健福祉センターあすてらす内
TEL 73-1120 FAX 72-5694
ホームページ <http://shakyo.ogori.net/>

じぶんの町を良くするしくみ

赤い羽根共同募金

この広報紙は、一部共同募金の
配分金を受けて発行しています。

新年度にむけて

小郡市社会福祉協議会
福岡県共同募金会小郡市支会



会長
吉塚 邦之

穏やかな春を迎え、皆さまのご健勝とご多幸を心からお慶び申し上げます。

日頃より社会福祉協議会の事業ならびに共同募金運動につきまして格別のご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。昨年、令和の新しい時代を迎え日本全体が未来への希望と歓びに沸きました。そして今夏には東京2020オリンピック・パラリンピックが開催されます。世界の平和を願い活気溢れる大会になることを祈念しております。

またその一方では、日本の至る所で自然災害が発生し、甚大な被害をもたらした年でもありました。小郡市においても一昨

年と相次いで豪雨災害に見舞われ、その災害直後の混乱の中、住民同士や学生ボランティアなどが被災された方々に寄り添い、助け合う姿に「絆」や「つながり」というコミュニケーションの持つ役割の大切さを改めて感じました。

小郡市社会福祉協議会では、誰もが安心して暮らせる豊かな地域づくりのため、「ふれあいネットワーク」の推進をはじめ、身の周りにある小さな課題や制度の狭間で声なき声が埋もれないよう耳を傾け、「気づきと迅速な行動力」を発揮できる体制

作りに努めております。

さらに、一人ひとりの人権を大切にしながら、市民の皆さまと行政、企業・団体、そして区長や民生委員児童委員など多くの方々と共に「お互いに支え合う」仕組み作りに取組んでおります。

このような地域を良くする活動は、共同募金の配分金や皆さまからご加入いただいております賛助会費などを財源として活動しております。

令和二年度も多くの方にご賛同いただき、賛助会員にご加入頂きますよう、お願い申し上げます。



2020年度

福祉のまちづくり

「賛助会員」加入のご協力

よろしくお願ひします。

団体会員 一口5千円

個人会員 一口1千円

※何口でもご加入いただけます。

《ご加入ありがとうございました》

【団体】

- セラピューティック・ケア「えがお」
- 康友会（駅前老人クラブ）

【個人】

- 井手 鏡子 ・ 岩橋都香佐
- 三澤 裕 ・ 小野 勝喜
- 高田ミネ子 ・ 小笠原優規
- 高田 卓也 ・ 川口 泰一
- 江口 美和 ・ 鹿毛 祥平
- 江口 智浩 ・ 古賀 和幸
- 山本 彩乃 ・ 古賀サツミ
- 井関 藍 ・ 小関恵美香
- 岩橋 裕司 ・ 中野 光久

（12月1日～2月15日）

令和元年度 赤い羽根共同募金運動 実績報告 954万4,737円

“ありがとう”を、幸せのカタチにしています

令和元年度、じぶんのまちをよくするしくみ「赤い羽根共同募金運動」にたくさんのご協力をいただきありがとうございます。

昨今の厳しい経済状況にも関わらず、市民の皆さまから心温まる募金をお寄せいただきました。

皆さまからの募金総額の70%は、令和二年度の小郡市内の福祉活動費として、地域福祉の充実に活用させていただきます。また30%は、県内の福祉施設や福祉団体への支援として活用されます。また災害支援としても積み立てられます。

皆さまからの「ありがとう」を幸せのカタチにしていきます。



▲三井高校の生徒さんも募金活動に協力いただきました。（小郡イオンにて）



▲小郡小学校児童会より募金箱の受け取りと活動の様子の報告をいただきました。

市内の小学校・中学校・高校等に募金活動への取組みをお願いします。

校内での募金活動は、児童や生徒が主体となつて取組み、集まったお金がどのような形で地域に役立てられているか、体験を通して、自分たちの住んでいる町の様子や課題への気づき、関心などに繋がっていきます。

子どもたちの学びにつながる

赤い羽根共同募金運動

募金活動実績 (令和元年10月1日～12月31日)	
戸別募金	6,231,450円
法人・個人募金	1,575,541円
街頭募金	141,009円
学校募金	195,497円
設置募金箱募金	250,348円
資材(バッジ等)募金 (原価 457,589円)	1,078,000円
イベント募金 (あすてらすフェスタ)	18,393円
自動販売機による募金	54,482円
預金利息	17円
合計 (原価代差引)	9,544,737円 (9,087,148円)



▲特別賞受賞 麻生学園小学校



▲優秀作品賞と特別賞受賞 三国小学校

キャッチフレーズコンクールにて、優秀作品〔個人〕・特別賞〔学校団体として〕を受賞

『地域の居場所づくり』 ～多世代交流～

今、全国各地で、また小郡市内の各地域でも様々な『居場所』が立ち上がっています。多世代の方々が集まり交流する『居場所』は、地域の人間関係が希薄になっていると言われる日本社会において、新たなつながりを作るための場として期待されています。今回のボランティア特集では、ボランティアが活躍する小郡の『居場所』についてご紹介していきます。



1 多世代交流の場 「シュシュプレイス」

ボランティア団体「あーすちゃれんじゃー」が主催する多世代交流の場。2018年から不定期で希みが丘公民館で開催。ランチバイキングや小物づくり、お菓子作り、ボランティアによる演芸など企画を行っている。



ベビーマッサージに興味津々の子ども達



親子でお菓子のデコレーション



高校生ボランティアが手伝うランチバイキング



運営ボランティア団体
「あーすちゃれんじゃー」
代表 川野悦子さん

2018年4月から始めて現在2年目です。多世代交流を行うことで、多くの方が関わり、協力し合って支え合い、理解し合えるきっかけになればいいなと思っています。子どもからシニアまで、たくさんの方に参加していただけると嬉しいです。

2 小郡初の認知症カフェ 「三国カフェ」



和やかにお茶をいただきます

男性ボランティア
スタッフも活躍中



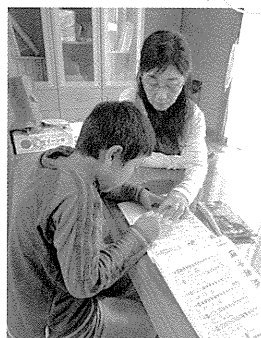
※
三国小学校区まち協が主催する認知症カフェ。2018年2月から第2火曜日10～16時にふれあい館三国で開催。お茶を片手におしゃべりなどの交流・仲間づくりを行い、健康相談コーナーも設けている。認知症に関係なく誰でも参加できる。

4 地域で子どもの成長を見守る 「下町ふれあい広場」



三井高ボランティア部の手話披露

宿題をみてもらう
こともあります



ボランティア団体「下町ふれあい広場」が主催する子どもの居場所。2016年4月から毎週木曜日15～17時に下町公民館で開催。基本的なルール以外は子どもの自主性に任せ、大人も共に将棋やバドミントンなどで遊ぶ。毎月他では経験できない体験イベントを行う。自然と地域の大人も集まり、異世代コミュニケーションができています。

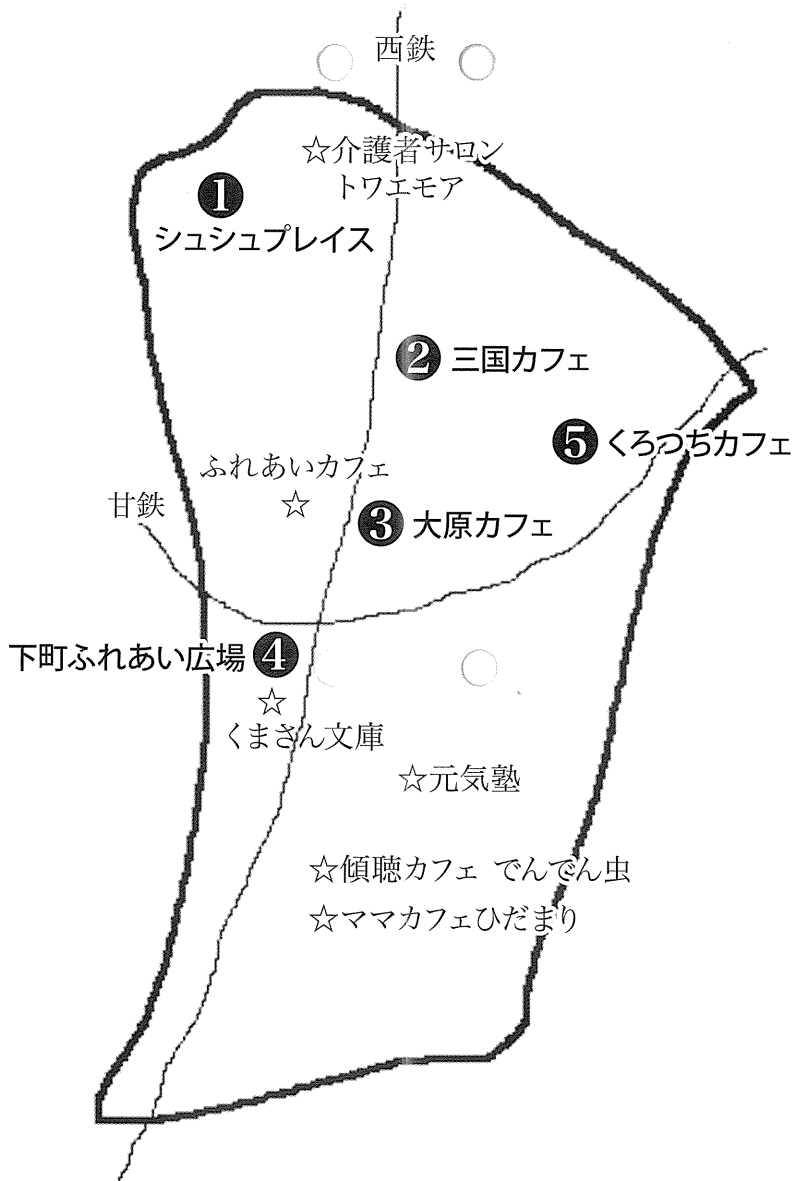
ボランティア特集

『地域の居場所づくり』

～多世代交流～

小郡市内には、今回詳しく紹介している居場所のほかにもそれぞれ特色を生かした居場所があります。そのほとんどは、どなたでも参加できる居場所となっています。気軽に足を運んでみてはいかがでしょうか。（参加費が必要な場所もあります）気になる居場所または他にも交流の場がありましたら、ご連絡ください。

ボランティア情報センター ☎73-1131

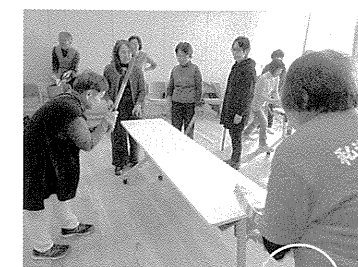


居場所は人と人が出会い、つながる場所です
居心地の良いと感じる場所を見つけてみませんか。

3 ボランティアの心がつなぐ 「大原カフェ」



脳トレで盛り上がります



もぐらたたきゲーム
には力が入ります

※
大原校区まち協が主催し、ボランティア団体「チームスマイル」が運営する地域カフェ。2019年4月から第2土曜日10～12時に大原きぼうの森館で開催。お茶を飲みながらお話し、健康体操や脳トレ、手芸などを行っている。

5 地域の多世代交流をめざして 「くらつちカフェ」

第2回カフェ開店
3月31日(火)
10時～16時



カレーは私達
「地産地消の会」が
作りました



美味しいカレーを満喫します

※
立石校区まち協が主催する地域カフェ。2019年11月にくらつち会館で立ち上がり、初回は地域のボランティアが作る食事（カレー）やお茶を提供。健康相談や野菜販売、遊びの場などを設けた。2020年度は年5回開催予定。

※まち協…住民主体の新たな地域コミュニティづくりを行う
「協働のまちづくり協議会」の略

ふれあいネットワーク活動

住み慣れたところで、いつまでも暮らし続けたいという気持ち!

各行政区でふれあいネットワーク活動が活発に行なわれています。

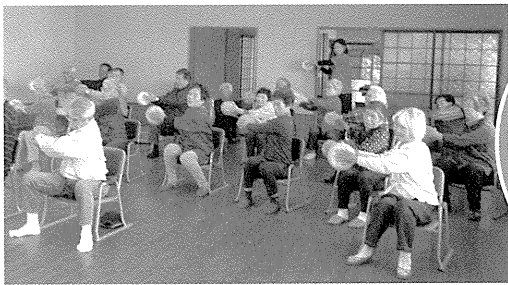
今回でサロン活動の紹介が3回目になります。これからも皆さんの活動を応援していきます。

立石区【立石校区】

年3回のサロン（交流会）

健康体操と講座を組み合わせて行っています。

消防署や警察署などの講話を聞いていただき、そのあとに身体を動かして、ゲームなどを楽しんでもらっています。“なかなか都合よくいかんごたる”“体が硬いばい”など話されながら、サロンの日を楽しみにしていただいています。参加いただいた方の笑顔にスタッフもたくさん元気をもらっています。



三国が丘1区【三国校区】

年10回のサロン（交流会）

多くの知り合いができ、住民の交流の場となっています。皆さんの健康状態の確認ができていますので、高齢男性の一人暮らしの方々も、もっと参加して下さるといいなあと思っています。サロンでは、笑いあり、体操あり・ゲームありでバラエティーに富んだ内容で楽しんでいます。参加者からは、楽しいので毎月実施してほしいと要望も頂いています。



地域のつながり

思いやりを届けましょう

ヘルプカードが

お手伝いします

福岡県では、障がいのある方、認知症のある方、難病の方、妊娠している方など、外見からわからなくても援助や配慮を必要としている方々が、周囲の方にお手伝いを必要としていることを知らせるヘルプカードの活用をおすすめしています。

●「ヘルプカード」の使い方

ヘルプカードに手伝って欲しいことを記入します。

普段から持ち歩き、困りごとが

起こった時に周囲の方にお見せください。

- ・市販のカードホルダーに入れてカバンの外に取り付ける
- ・財布の中や障がい者手帳に入れるなど

使われる方の状態や状況によって、適切な方法で持ち歩いてください。

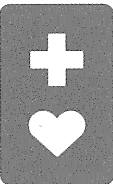
※取扱いや紛失にはご注意ください。
街でヘルプカードを身につけた方が困っていたら、まず、声をかけて必要なサポートをお願いします。

私を手伝ってほしい事

大きな音が苦手です。
やさしく声をかけてください。
緊急TEL 000-0000-0000

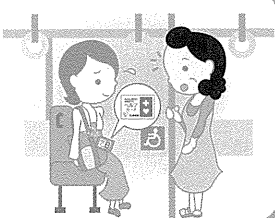
あなたの手助けが必要です。

ヘルプカード



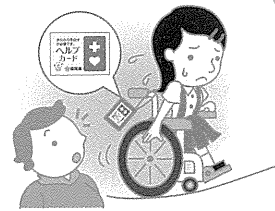
ケース1

内部障がい、難病がある方、妊娠初期の方など長時間立っているのが大変な方に、すすんで席を譲りましょう。



ケース2

お手伝いの声をかけて良いのかためらう時もありますね。ヘルプカードを見たら積極的に声をかけてみましょう。



カードの入手先

- ・福岡県HP
- ・小郡市福祉課
- ・小郡市社会福祉協議会 など

2020年度 ボランティア情報センターからのお知らせ

ボランティア講座案内

ボランティアをやってみたい、ボランティアのことを知りたい、ボランティアを学びたい方をサポート。初めての方もボランティア活動中の方も、受講お待ちしております。

ボランティア講座	期 間
点訳ボランティア 入門講座 (全8回)	5月15日(金)~7月17日(金) 毎週金曜日 AM10時~12時 ※6月12日、7月10日休講 ※テキスト代770円必要
災害ボランティア講座	春~夏頃
福祉レクリエーション講座	開催日検討中
地域ボランティア講座	秋頃

「ボランティア活動保険」加入案内

ボランティア活動時のもしものケガや事故の備えに保険の加入をお勧めします。また現在、加入されている方の補償は令和2年3月31日までです。継続される方は補償が途切れないように、3月末までに手続きをお願いします。

令和2年度 保険料	
基本プラン 350円	天災・地震補償プラン 510円

問合せ・申込先 ボランティア情報センター ☎・FAX 73-1131

タイムケア利用者募集

障がい児の放課後や長期休暇中の居場所づくりを目的とするタイムケアを週に1度行っています。地域のボランティアが集まり、マンツーマンで子どもに関わります。

- 日 時：毎週木曜日 15時~18時
- 会 場：あすてらす
- 対象者：小郡市在住の障がいがある
小・中学生・高校生
- 利用料：1回の利用につき500円
長期休暇中は1,000円
- 申込締切：3月19日(木)



昨年の春は、あすてらす裏の土手で仲間と一緒に草スキーを楽しみました。

ボランティア募集 スプリングスクール

この春休みも障がい児(者)福祉に関心のある高校生以上のボランティアを募集します。レクリエーションを通して障がい児とそのきょうだい同士、ボランティアとの交流を深めていきます。

日 時 3月26日(木)・27日(金) 9時~16時まで
(※昼食は準備します。1日のみの参加可)
会 場 小郡市総合保健福祉センターあすてらす
申込期間 3月1日(日)~12日(木)
事前説明会 3月22日(日) 9時30分~

スクールについて、
知りたいこと聞きたい
こともお気軽にトローゾ!

※ボランティア証明書
発行します。



R2年度 障がい者長期休暇 スクールの予定

市内在住の障がい児(小中高生)が、春休み・夏休み・冬休みにスクールに参加し、ボランティアと楽しく過ごし障がい児とそのきょうだい同士の交流と同時にボランティアの育成を目的として開催します。

R2年度 スクール開催予定	
サマースクール (5日間)	8月17・18・24・25・27日
ウィンタースクール (3日間)	12月25・R3年1月5・7日
スプリングスクール (2日間)	R3年3月25・26日

〈主催〉
グローバルネットワークおごおり
サポネットおごおり、
こぐま福祉会、市社会福祉協議会、
市福祉課の4者によるネットワーク

申込先 サポネットおごおり(あすてらす内) ☎ 0942-72-3175・FAX 0942-80-5506

これからの人生を支える場所
希望であり続けたい

大保原老人クラブ

霧田 隆

大保原老人クラブ（会員80名）

は、公園や公民館清掃、見守りパトロール、例会、日帰り旅行、そして7つのサークル活動から、元気を分かち合い楽しむことで、豊かな高齢期を目指しています。

昨年暮れの忘年会を兼ねた例会は、500円のお弁当に缶ビール、これに華を添えたのが女性部有志による愛情のこもった手作り豚汁

ススムの社活動

今年1月17日
西日本新聞
こんな出だしで
始まった
社会部四宮淳平
さんのコラム
「風向計」



中学校とは、そんなに
いづらなものなのか。
子どもたちの話を聞
いてやるせない気持ち
になっ



学級を中心になるのは明るく
て、ふざけるのが得意な人たちだ。
求められたのは面白さや笑い。
うけ狙いの行動がいい意味で
注目を浴びるのと、過度に「い
じられる」のは紙一重 複数の
「上位グループ」と「それ以外」
という序列もあったようだ。



事情はそれぞれ異なる
だが、同年齢の子どものだけ
いう閉鎖された空間や、校則で
縛りながら集団行動と競争を同
時に強いる環境が息苦しさの要
因になっていないか。
そこから逃れるように、かつ
ての非行とは違った形で不登校
の中学生が増えている。



このコラムを家族で読んだ長男は納得しながらも自分の位置を言い出した
どうも、周りに同調する側にいるらしい
親としての心配もあったが自分はどうだったのか？
長男と同じように様々な優劣を気にして過ごしていたように思えた

一令和元年7月豪雨にかかる義援金の募金活動の報告一

令和元年7月21日の大雨により、小郡市でも一昨年と同じ様な大きな被害が発生しました。

小郡市と小郡市社会福祉協議会では、被災された方々への支援として、義援金の募金活動〈10月2日～11月28日〉を行いました。短期間ではありましたが、お寄せいただいた義援金は、399,115円でした。

この義援金は、小郡市義援金品配分委員会により協議の上、床上浸水被害に遭われました46世帯に配分されたことをご報告いたします。
たくさんのご協力、ありがとうございました。

です。誕生者を歌やケーキで祝い、喜びのひとつを披露。大正琴の伴奏で季節の歌やクラブの歌を合唱し、健康体操にダンス、それに、持ち寄った品で福引抽選会と、あつという間に予定の時間が過ぎました。区長さんや民生委員さんも参加いただき賑やかな年忘れの例会となりました。
90歳以上の会員の方には、毎回例会の報告と一緒にお弁当をお届けしています。
サークル活動のグラウンドゴルフは学校休日を除き、毎日プレーしています。カラオケ、絵手紙、ダンス、ひよつとこ踊り、お謡いは、公民館で月に1回〜週1回の

活動。山歩きは適宜と、それぞれ参加メンバーで自主的に運営し集まりを楽しんでいます。
住み慣れた地域に趣味のサークルや集まりがあり、参加すれば仲間ができる。家族や社会のため精一杯働き高齢期を迎えるそのとき、老人クラブ（市老連たなばたクラブ）は、これからの人生を支える場所であり、希望であり続けたいと願って活動をしています。

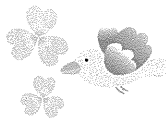


年忘れの例会では女性部が大活躍

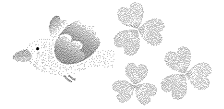


令和元年GGさくら会12月納会

グラウンドゴルフは、健康の源です



あなたの悩みを心配ごと相談へ



相談事業は、心配ごと・困ったこと等、市民の生活に関わる様々な問題を相談できる窓口です。

◆場所 小郡市総合保健福祉センター「あすてらす」1F 相談室

◆日時 毎週木曜日 午後1時～4時

◆体制 心配ごと相談は、相談員2名で対応します。

弁護士相談（第2・4木曜日）は、弁護士1名と相談員2名が同席し対応します。

◆お願い 弁護士相談は、電話による予約制で、先着6名の受付です。

予約電話 【73-1120】

※来所による受付は行っておりません。



3月の相談日程

5日	心配ごと相談
12日	弁護士相談 *予約日: 3/5 (木) 午前9時～
19日	心配ごと相談
26日	弁護士相談 *予約日: 3/19 (木) 午前9時～

4月の相談日程

9日	弁護士相談 *予約日: 4/2 (木) 午前9時～
23日	弁護士相談 *予約日: 4/16 (木) 午前9時～

5月の相談日程

14日	弁護士相談 *予約日: 5/7 (木) 午前9時～
28日	弁護士相談 *予約日: 5/21 (木) 午前9時～

※4月以降の心配ごと相談については、事務所までお問い合わせ下さい。
☎ 73-1120

生活困窮者自立相談 事業へのご支援 ありがとうございます

下記の物品等の寄付をいただきました。

- ・米・大麦・うどん・そば
- ・加工食品・みかん
- ・スイーツセット・タオル
- ・紙おむつ

引続き支援物品のご協力をお願いします。特に必要とするものは、保存期間内の食品や日常必需品です。例えば

- 米 ○缶詰
- レトルト食品など
- 日用品
(洗剤・シャンプーなど)

連絡いただくと、こちらから受け取りにお伺いいたします。

問 小郡市社会福祉協議会
生活支援係
☎73-1120

●一般寄附

- ・小郡市民生委員児童委員協議会 様
- ・みくに野団地区 みくに野団地趣味の会 様
- ・小郡市商工会 女性部 様
- ・下町区 行実 福祐 様
- ・匿名

故人となられました方のご冥福を心からお祈り申し上げます。

- ・大保区 重松 満江 様 (故母 佐藤キクエ様)
- ・東野区 永富 年光 様 (故長男 光様)
- ・寺福童区 米倉ムツエ 様 (故夫 一彦様)
- ・立石区 石田 久治 様 (故妻 マサエ様)
- ・市外 田代 正士 様 (故親族 晴裕様)

●香典返し寄附 (順不同)

次の方々から温かいご寄附をいただきました。
小郡市内の福祉向上のため大切に使用させていただきます。
(12月1日～2月17日まで・順不同)

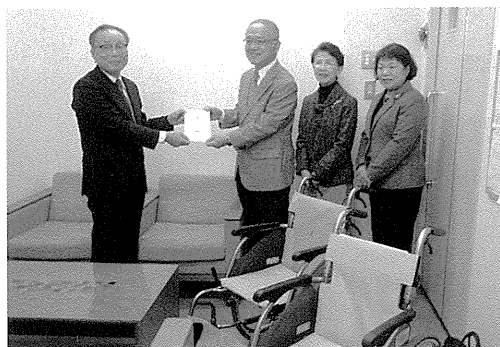
社会福祉へご寄附

ありがとうございます



●物品寄附

・久留米法人会女性部会様より
車椅子2台



▲パステルカラーの軽量な車椅子2台を寄贈いただきました。大切に使用させていただきます。ありがとうございました。



